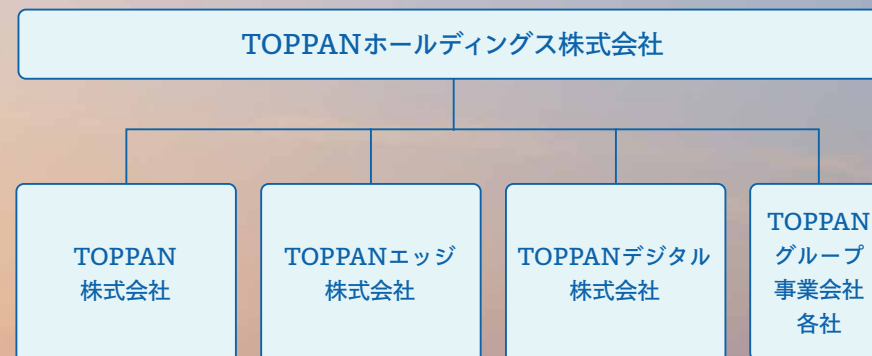


持株会社体制への移行について

2023年10月
TOPPAN は、ホールディングス体制に移行しました。

持株会社である「TOPPAN ホールディングス株式会社」の傘下に
「TOPPAN 株式会社」「TOPPAN エッジ株式会社」「TOPPAN デジタル株式会社」を設立。
グループガバナンスを強化し、グループ全体での事業ポートフォリオ変革をさらに進め、
シナジーの最大化により、新たな価値創造と持続可能な社会の実現を目指します。

TOPPAN



ホールディングス体制への移行

持株会社制への移行の目的

持株会社制への移行の最大の目的は、グループガバナンス強化によるグループシナジーの最大化です。「TOPPANホールディングス株式会社」がガバナンスを発揮して各事業会社との連携を強め、協働・共創を通じて、新たな価値創造のスピードを上げていきます。グループ企業各社が持つ様々なリソースやビジネス、サービスを組み合わせ、成長分野であるDX、SX、フロンティアの事業を拡大し、事業ポート

フォリオの変革をさらに推進していきます。

また、この新しい経営体制の発足にあたり、TOPPANグループのパーパスを制定し、グループ全体の理念やありたい姿を明確にしました。今後は、シナジーを具現化させ、TOPPANグループ全体での取り組みを拡大していきます。

グループ再編の推移

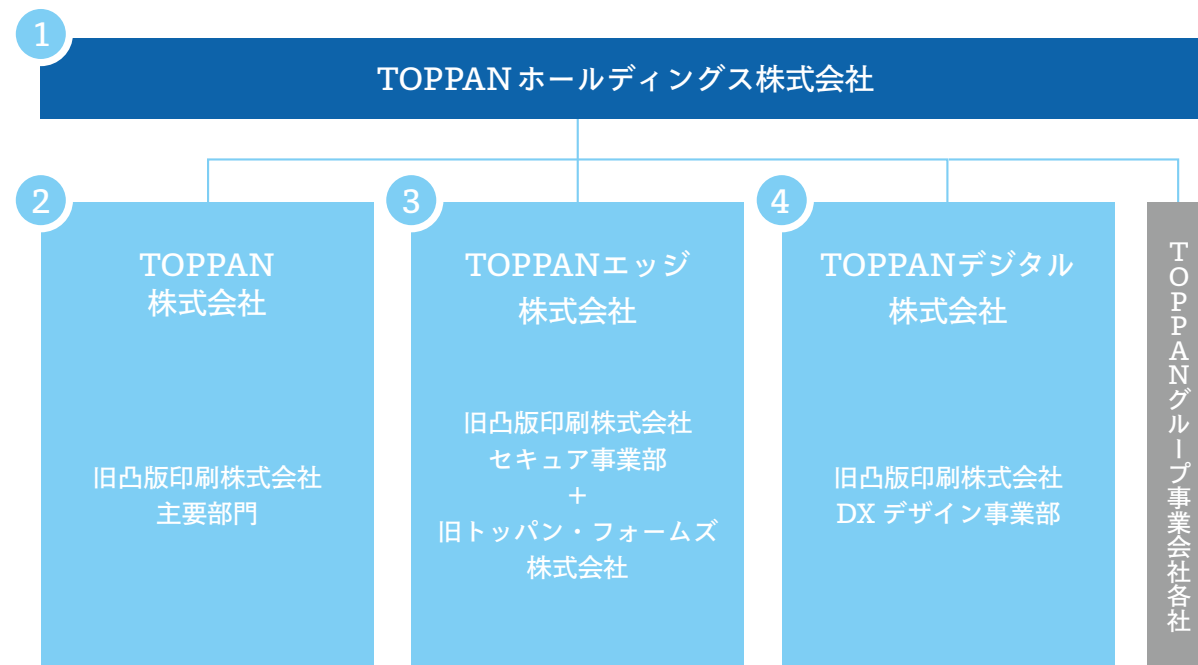
2021年11月:2023年10月頃を目途に持株会社体制へ移行することを基本方針とし、グループ組織再編に向けて検討を進めることを

発表。

2023年4月:全体再編に先駆け、凸版印刷株式会社のセキュア事業とトッパン・フォームズ株式会社の事業を統合した「TOPPAN エッジ株式会社」を設立。

2023年10月:持株会社体制へと移行し、持株会社「TOPPANホールディングス株式会社」として、グループ全体最適の視点から事業会社を一体的に運営、持株会社の傘下には、「TOPPAN エッジ株式会社」、並びに、凸版印刷株式会社の主要部門を母体とする「TOPPAN株式会社」およびTOPPANグループ全体のDX事業推進を牽引する「TOPPAN デジタル株式会社」を設立。

ホールディングス体制図



各社の役割

- 1 TOPPANホールディングス株式会社** 23年10月設立
 グループ全体最適の視点から事業会社を一体的に運営
- 2 TOPPAN株式会社** 23年10月設立
 凸版印刷株式会社の主要部門を母体として継承
 情報系/生活系/エレクトロニクス系事業
- 3 TOPPANエッジ株式会社** 23年4月設立
 情報系の事業ポートフォリオ変革を牽引
 セキュア/ BPO 事業
- 4 TOPPANデジタル株式会社** 23年10月設立
 グループ全体のDX事業戦略を推進
 DX事業開発/ IT基盤・ガバナンス